

地方創生

こんなことをしています

4月上旬号で紹介した「地方創生総合戦略(四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略)」の基本目標に関連する事業を紹介します。今回紹介する事業は、いずれも基本目標1「産業都市として日本のものづくりをリードし、さらなる発展を築く」につながる事業です。

かぶせ茶PRの推進 ～知って! 飲んで! おいしい「かぶせ茶」～



生産量日本一を誇る本市の特産品「かぶせ茶」を広くPRするため、市内のイベントだけでなく、首都圏などで開催するシティプロモーションイベントでも積極的に情報発信を行っています。

まずは、「かぶせ茶」を知って飲んでもらうため、茶農家とも連携し、イベントで試飲してもらったり、一煎

近年、急須でお茶を飲む人が減少しています。こうした活動を通して「かぶせ茶」の消費拡大を図り、茶業の活性化を図るとともに、お茶の産地としての本市の魅力を発信することで、観光客の誘致にもつながっていきます。



首都圏のイベントで「かぶせ茶」をPRする「四日市茶農家女子会」の皆さんと、こにゅうどうくん



パックを配布したりすることにより、「かぶせ茶」の魅力を多くの人に紹介しています。

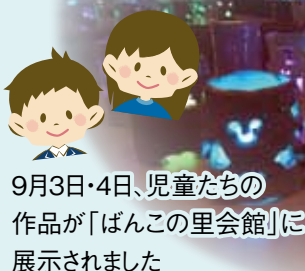
渋みが抑えられた甘くまろやかなお茶は、一定期間、茶樹を黒いネットで覆い、直射日光を遮ることで作られています

「四日市萬古焼」体験講座 ～地場産品をもっと身近に～



本市を代表する地場産業である「四日市萬古焼」。これまで、「ばんこの里会館」周辺の小学校4校で体験講座を実施していました。

今年度は、従来の4校に加え、産地から離れた学校でも体験ができるよう、窯元の職人などが学校に出向く出前講座を18校で実施する予定です。



9月3日・4日、児童たちの作品が「ばんこの里会館」に展示されました



焼き上がりが楽しみ～♪

職人の指導を受けながら、思い思いの作品を作ります

地元の産業について学ぶ児童にとって、実際に四日市萬古焼に触れ、自ら作る経験は、地場産品への愛着を醸成するとともに、ものづくりの楽しさを知ることができ、学びの相乗効果をもたらします。

また、この体験を通して、将来の担い手の確保を図る狙いもあります。